

令和8年第1回市議会定例会一般質問一覧表

1 日 時 令和8年3月4日(水) 午前9時30分
令和8年3月5日(木) 午前9時30分

2 質問者 (質問順)

- | | | |
|---------------|-----|-------------------------------|
| (1) 新緑水クラブ | 80分 | (1 早川直久、2 井上正人、3 成田佳勉、4 加藤菊信) |
| (2) 市友会 | 20分 | (5 工藤政明) |
| (3) 公明党 | 40分 | (6 蓑手純一、7 井上純一) |
| (4) 日本共産党議員団 | 20分 | (8 加藤典子) |
| (5) 子どもたちに青い空 | 20分 | (9 村瀬進治) |

3 質問事項、要旨及び項目

質 問 者	1 早川直久議員（新緑水クラブ）		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 中日ドラゴンズ2軍球場誘致について	1 令和7年末、中日ドラゴンズは2軍球場が老朽化等のため、移転先を公募する方針を発表した。1軍球場からの時間的距離等色々な条件があるが、スポーツ振興・賑わいづくりの観点から、ぜひ、東海市も立候補するべきだと思うが、市の考えはどうか	(1) 募集条件の中に、約6ヘクタール以上の面積が必要とあるが、市内に該当する場所はあるか (2) スポーツ振興・まちの賑わいづくりの観点から立候補する考えはあるか	
2 地球温暖化対策実行計画について	1 令和3年（2021年）9月に策定した地球温暖化対策実行計画（事務事業編）では、令和12年度（2030年度）における温室効果ガス排出量を平成25年度（2013年度）比で50パーセント削減するとあるが、目標達成の進捗状況等について市の考えはどうか	(1) 直近の令和6年度での温室効果ガス排出量の削減状況はどのようか (2) 庁舎のリニューアルやリースによる公共施設の照明器具のLED化で、どの程度の削減が見込まれるのか (3) 50パーセント削減の目標達成の見込みはどのようか。また、今後はどのような対策を講じていくのか	
3 加木屋中ノ池駅周辺整備について	1 加木屋中ノ池駅は令和6年3月に北改札口が開業し、令和8年3月には、南改札口が開業する予定である。今後、駅前ロータリーやトイレ等を整備すると聞いているが、今後のスケジュール等を問う	(1) 今後、加木屋中ノ池駅の南口周辺施設の整備が進む予定であるが、完成後の効果をどのように考えているか (2) 加木屋中ノ池駅の1日あたりの平均乗降客数の推移と今後の見通しはどのようか (3) 令和7年度から進めている東海加木屋中部土地区画整理事業の保留地の販売状況及び住居系保留地の応募者の傾向はどのようか (4) 土地の使用収益開始率と利用状況はどのようか	

<p>4 グリーンスチール製品調達について</p>	<p>1 本市では全国の自治体に先駆けてグリーンスチールが使用されたロッカーやキャビネットを購入し、市長室及び副市長室に設置したが、今後の方向性について市の考えはどうか</p>	<p>(1) 今回グリーンスチールが使用された製品を購入するに至った経緯はどのようなか (2) グリーンスチールが使用された製品と通常の製品との価格差はどのようなか (3) 現時点では、グリーンスチールが使用された製品を取り扱うメーカーは限定的ではあるが、今後、対象製品の拡大が見込まれることから、市としてどのように製品の調達を進めていくか (4) 今後の市の取組について、PR方法はどのようなか</p>	
<p>5 上下水道の広域化に関する取組について</p>	<p>1 西三河地域の9市1町では、持続可能な上下水道サービスを提供するため、上下水道を広域で一本化する取組が始まった。本市の水道事業・下水道事業の課題と広域化の状況を問う</p>	<p>(1) 水道事業・下水道事業の持続可能な事業運営を行うための課題はどのようなか (2) 水道事業・下水道事業の課題解決に向けて、広域化のメリットとデメリットをどのように考えているのか (3) 水道事業・下水道事業の広域化に今後どのように取り組んでいくのか</p>	

質 問 者	2 井 上 正 人 議 員 (新緑水クラブ)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 太田川駅西土地区画整理事業について	1 太田川駅西土地区画整理事業区域内では、進出事業者の建築工事が進み、オープン間近の施設もあり、期待が高まっている。そこで完成に向けたスケジュール等について問う	(1) 各施設や公園の完成までのスケジュールはどのようなか (2) 商業施設にはどのような店舗が進出するのか (3) 大学、ホテル及びマンションの規模はどのようなか (4) 住宅系保留地の販売状況及び今後の予定はどのようなか	
	2 事業区域内において、現状では信号機が設置されていない主要交差点が複数あるが、信号機の設置計画等について問う	(1) オープン間近の施設があるが、交通対策をどのように考えているか (2) 信号機の設置はいつ頃になるのか	
2 木田福祉会館建替えによる影響について	1 建替えに伴い様々な影響が考えられるが、工事期間中の代替施設の確保及び竣工後の従前機能の維持について問う	(1) 敬老の家の代替施設はどのようなか (2) 木田福祉会館の代替施設はどこになるのか (3) 投票所の代替施設と完成後の再開はどのようなか	
3 東海市特定疾病患者医療費助成について	1 本市では長期に渡り、気管支ぜん息等の疾病に対する医療費助成を行ってきたが、その効果等について問う	(1) どのような目的でいつから開始されたのか (2) 北部地域と南部地域における現在の認定患者の比率はどのようなか (3) 全国で同様の制度が残っている市町村はあるか (4) 制度の効果はどのようなか。また、今後の制度についての考えはどのようなか	

質 問 者	3 成 田 佳 勉 議 員 (新緑水クラブ)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 部分休業の拡大について	1 地方公務員法により取得可能な部分休業制度について、現在、対象者が小学校就学前までの子どもを養育する職員となっている。仕事と子育てを両立する目的で制度が利用されるため、より一層の子育て環境の充実に向けて対象児の年齢拡大の考えについて問う	(1) 令和5年度以降、3年間の部分休業の職種別の取得者数及び制度運用上の課題はどのようなか (2) 部分休業の対象となる子どもの年齢について、拡大を検討する考えはあるか	
2 公立保育園等における途中退園について	1 2歳児未満の子どもがいる家庭で保護者が育児休業を取得する際、公立保育園等では制度上、退園となる現状がある。育休明けに希望していた保育園へ戻れない、または入園の待機状態となってしまうリスクがあり、子育てにブレーキをかけてしまう家庭があることも推測されることから、保育園の途中退園の制度緩和の考えについて問う	(1) 現在、公立保育園等における保護者の育児休業取得に伴う入所の条件はどのようなか (2) 保護者の育児休業取得に伴う1歳児の途中退園を防ぐ措置について、本市ではどのように考えているのか	

<p>3 発達障がいのある方を支える取組について</p>	<p>1 発達障がいとは脳の働き方の違いによりコミュニケーションや行動、理解の度合い等に特有の凹凸が生じる障がいで、生活や人間関係において困難さを感じることも多くある。身体的な障がいは異なり、日常生活を補助する器具や用具の必要性が伝わりにくい。発達障がいのある子どもを支える保護者の方々の日々の悩みもある中、発達行動支援のための療育支援用具に対する給付や使い方の周知等を行う考えについて問う</p>	<p>(1) 本市が行なっている日常生活を円滑に過ごすための日常生活用具に対する給付はどのようなものがあるか (2) 他市町での療育支援用具に対する給付事業をどのように把握しているか (3) 本市においてもまずは18歳未満の子を持つ家庭を対象に療育支援用具に対する給付を行い、併せてその使用方法の周知等が必要と考えるがどうか</p>	
<p>4 屋内遊び場施設の構想について</p>	<p>1 令和10年開設予定の子どもの屋内遊び場施設について、子ども達の安全や楽しさを追求することと、同伴する保護者も充実した時間を過ごせる施設であることが子育て支援のための施設として必要なことだと考える。保護者がコミュニティを形成することや、子育てのパワーを充電できる環境づくりについて問う</p>	<p>(1) 屋内遊び場施設の構想や進捗はどのようなか (2) 施設利用の対象年齢や子ども達が楽しく過ごせるための工夫はどのように考えているか (3) 保護者も充実した時間を過ごすための環境づくりをどのように考えているか</p>	
<p>5 乳幼児親子の児童館利用状況について</p>	<p>1 児童館では絵本で親子ふれあい事業を始め、さまざまなイベントを通して、乳幼児親子の利用が増加している。身近で日常的な遊び場、相談場所として機能する施設となるためには、乳幼児親子にとって駐車場が必須と考えるが利用状況と駐車場整備状況を問う</p>	<p>(1) 市内児童館における乳幼児親子の直近3年間の利用状況はどうか (2) 公家児童館の駐車場の整備状況はどのようなか</p>	

<p>6 降下ばいじん対策について</p>	<p>1 臨海部企業においてはさまざまな降下ばいじん対策が行われているが、より効果的な対策に繋げるために、成分分析の活用と臨海部企業との連携の考えについて問う</p>	<p>(1) 市の測定地点において降下ばいじんの成分調査はどのように行われているか。また、成分によって効果的な対策があると考えられるかどうか (2) 降下ばいじん対策を進めるために、市と臨海部企業が先進事例を共同研究する等、有効な降下ばいじん対策を検討してはどうか</p>	
-----------------------	---	---	--

質 問 者	4 加藤菊信議員（新緑水クラブ）		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 継続的な農業支援策について	1 東海市は、県内でも有数の農業支援をしているが、農業を取り巻く状況は厳しく、資材費や農機具等の機材費の高騰がさらに予想される。そのような状況の中、愛知用水經常賦課金も老朽対策として増額が今後も予定されている。後継者不足の中、農地保全と産地の維持のため、継続的な農業支援策について市の考えを問う	<p>(1) 東海市には洋ラン、タマネギ、フキ、ナス、ミカン、ブドウ等、長きに渡り先人たちが育て作り上げてきた特産品がある。また新たに、かんきつ夕焼け姫が立ち上がってきた。これからの農業を支えていくため、後継者不足対策としても長期的な支援の必要性があるが市としてどう考えるか</p> <p>(2) 愛知用水ができてから64年が経過し、老朽化が言われるようになり、物価高による維持費の増大等の対策として受益地の經常賦課金の増額が年次計画されている。国に対して、農業の根幹である農業用水のインフラ等の整備に対する支援を愛知用水土地改良区及び愛知用水事業推進協議会と共に東海市も積極的に働きかけるべきと考えるがどうか</p> <p>(3) 愛知用水經常賦課金について、農家負担の軽減のため県内でも2市が助成を行っているが、東海市でも以前行っていたように助成すべきと考えるがどうか</p>	
2 観光資源への投資と有効活用について	1 東海市の観光資源は聚楽園大仏、臨海部の工場夜景、大池公園、大田・横須賀の山車まつり等いろいろあるが、農産物も含め観光資源を融合させ、ハード・ソフト両面からの継続的ブラッシュアップの必要性と発信力強化について市の考えを問う	<p>(1) 聚楽園大仏周辺の景観のための電線類の地中化、樹木の剪定、安全性のための階段の改修等、環境整備について市としての所見を問う</p> <p>(2) 工場夜景遊覧クルーズと工場見学をマッチングしたように、聚楽園大仏の常設ライトアップも融合する考えはどうか</p> <p>(3) 観光を育てるためには、特別な景観、物語、歴史等が必要と考える。そしてSNSや観光雑誌等への発信力等を継続的にできる部署と人材について市の考えはどうか</p>	

<p>3 市の歴史を後世に伝える必要性について</p>	<p>1 学芸員を交えた市民公募の歴史資料調査会を立ち上げ、東海市の歴史資料や民俗資料の収蔵施設を整理し、より市民に見ていただく機会を増やせるようにする考えについて問う</p>	<p>(1) 現在、郷土資料館収蔵庫の所蔵資料はどのくらいあるのか。また具体的にどのような資料が収蔵されているのか (2) 市民が郷土資料館収蔵庫に入って見学する機会はあるか。また、学芸員を交えた市民公募の歴史資料調査会を立ち上げ、東海市の歴史資料や民俗資料の収蔵施設を整理していく考えについてどうか</p>	
	<p>2 平洲記念館や郷土資料館では、各学校に出向いての出前講座、縄づくり及び石臼挽き等、いろいろな体験会を通して子どもたちに歴史に興味を持ってもらっているが、市民に幅広く関心を持ってもらう手立てについて問う</p>	<p>(1) 過去3年間における平洲記念館・郷土資料館の個人、団体の来館者数はどのようか (2) 手狭で展示主体の郷土資料館になっているが、資料の収集保管、調査研究、展示普及、SNSの活用等、包括的機能を持ち、分かりやすく市民が歴史を学べる博物館が東海市には必要と考えるが市の考えはどうか</p>	
<p>4 東海市史編さんの必要性について</p>	<p>1 東海市の歴史を伝える手立てに東海市史があるが、市では平成5年の資料編の発刊以降33年間発刊されていない。今後、市制の周年に当たり都市計画の歩みや名誉市民について等、新たな記録を編さんし50年、100年先の後世に残し伝える意味は大きいと思うが市の考えを問う</p>	<p>(1) 前回の市史編さんには、大変な時間と労力がかかったと聞くが、当時の編さんに携わった職員は現在何人在職しているか (2) 記録映像と市史とは異なると考えるが、現在残っている記録映像はどのように管理されているのか。また市民が容易に閲覧できる環境にあるのか (3) 今後、市制施行の節目を迎えるにあたり、市史について50年、100年先の後世に残し、伝えなくてはならないものがあると思うが市史編さんについての市の考えはどうか</p>	

<p>5 持続可能なコミュニティの在り方について</p>	<p>1 市内で最初に緑陽コミュニティが発足してから48年が経過し、また最後に渡内コミュニティが発足してから26年が経過した。その間、経済状況や、定年延長、働き方改革等、市民の生活環境は大きく変わってきている。今後30年後、50年後のコミュニティの在り方について市の考えを問う</p>	<p>(1) コミュニティの組織から離脱する町内会・自治会があると聞くと、その現状はどうか。またその理由はどうか (2) 子ども会やシニアクラブが徐々に無くなってきており、その取組の補完先としてコミュニティにお願いしていると聞くと、コミュニティ役員の負担の増大について市はどう考えているか (3) コミュニティにおいて、町内会・自治会を通じてコミュニティ会費を払っている人とそうでない人、会議等においても有償の人と無償の人がいるが、本来コミュニティの目的である、地域のふれあい交流をはじめ、地域の防災・防犯や地域福祉の分野の取組で影響はでないのか。また、役員のなり手がいないという課題も残るが、持続可能なコミュニティの在り方について市の考えはどうか</p>	
------------------------------	--	--	--

質 問 者	5 工 藤 政 明 議 員 (市友会)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 市民財産や自然を火災から守る取組について	1 平成28年12月に新潟県糸魚川市、令和7年11月に大分県大分市で多くの家屋等を焼損する火災が発生しており、このような火災は大規模火災や大火と呼ばれ、甚大な被害を招く恐れがあることから、様々な予防や警戒の活動が進められているものと想像する。大規模火災や大火を予防する取組について、本市の状況と考えを問う	(1) 大規模火災や大火の定義はどのように定められているのか。また、本市で該当する火災が発生した記録はあるのか (2) 糸魚川市や大分市で発生した火災の原因及び規模をどのように把握しているのか。また、本市内で同程度の火災が発生した際の消防体制はどのように整えられるのか (3) 大規模火災を発生させないための予防活動をどのように展開しているのか	
	2 林野火災と呼ばれる森林や原野又は牧野を焼損する火災の国内年間発生件数は減少傾向にあると言われているが、令和7年は、2月に岩手県大船渡市、3月に岡山県岡山市や愛媛県今治市をはじめとする地域で火災が相次いで発生している。林野火災を予防する取組について、本市の状況と考えを問う	(1) 過去3年間の林野火災の発生件数はどのような状況なのか。また、年間を通じて発生する時期に傾向はあるのか (2) 林野火災が発生する原因をどのように把握しているのか。また、林野火災が発生した際の消防体制はどのように整えられるのか (3) 林野火災警報等の火気使用の健全化を促す注意喚起を条例化する自治体があるが、条例等注意喚起の内容をどのように把握しているのか。また、本市で警報や注意報を定める必要性をどのように考えているのか	

<p>2 災害に強いまちをつくる取組について</p>	<p>1 令和7年11月に愛知県は、県内自治体における避難所の運営マニュアル作成の参考となるべき指針を改定し、被災者の生活や健康を守ることの重要性を唱えている。避難している場所にかかわらず適切な支援を行うための避難生活支援について、本市の状況と考えを問う</p>	<p>(1) 愛知県避難所運営マニュアルが愛知県避難生活支援マニュアルに改定されたが、改定の考え方及び背景並びに内容をどのように把握しているのか (2) 本市内で運営が計画されている拠点避難所は、内閣府が示した避難生活における良好な生活環境の確保に向けた取組指針にどのように適用しているのか。また、不足を補う方策をどのように考えているのか (3) 避難所とは別に在宅や車中の避難者を支援する在宅避難者等支援施設を設置する必要性をどのように考えているのか。また、支援施設はどこで誰が運営することになるのか</p>	
	<p>2 大規模災害時における救援・救護の要として、がれき等で塞がれた道路を切り開き緊急車両の通行を確保するための道路啓開について、本市の状況と考えを問う</p>	<p>(1) 本市指定の緊急輸送道路はどのような道路があるのか。また、愛知県道路啓開計画に示された中部版「くしの歯作戦」に本市が道路管理者になっている道路は含まれているのか (2) 道路啓開に際しては、がれき等の撤去にかかる機材等を保有する団体等の協力が必要になるが、建設業者等の関係団体との協力体制はどのように整えられているのか (3) 災害対策基本法に基づく放置車両の移動に際しては、車両の移動作業にかかる機材等を保有する団体等の協力が必要になるが、車両移動を扱うことが出来る関係団体との協力体制はどのように整えられているのか</p>	
<p>3 児童生徒の健全育成を支える取組について</p>	<p>1 校内で動物を飼育することにより、自分と身近な動物やその生命に関心を持ち、生き物を大切にすることを育む等、豊かな人間性の育成に期待されている小学校における動物飼育について、本市の状況と考えを問う</p>	<p>(1) 校内で動物を飼育することによる児童の健全な育成への効果をどのように考えているのか。また、利点や欠点をどのように把握しているのか (2) 校内に飼育舎を保有している学校は何校あるのか。また、飼育舎でどのような動物が飼育されているのか (3) 飼育舎を保有する学校は減少傾向にあると聞くが、飼育舎を保有しない理由をどのように把握しているのか (4) 動物飼育に替わる生き物を大切にすることを育む指導方法をどのように考えているのか</p>	

	<p>2 安全安心を前提とする学校生活環境下においても思いがけない事故や災害の発生が否めないと考え。起きてはならない事故や災害が発生した場合の対応について、本市の状況と考えを問う</p>	<p>(1) 過去3年間において、救急車を要請して児童生徒を医療機関へ緊急搬送した件数及び主な事例はどのような状況なのか (2) 心肺停止の場合に備えた養護教諭以外の教員による心肺蘇生の訓練はどのような頻度と内容で行われているのか (3) 危機等発生時の対処要領として、各学校の状況に応じた学校安全マニュアルを備えていると聞くが、マニュアル内容の教員への周知や見直しの頻度はどのように定められているのか (4) 養護教諭以外の教員が危機等発生時の対処や調査整理が滞りなく行える体制を整える必要性をどのように考えているのか</p>	
<p>4 保育需要の多様化に対応する取組について</p>	<p>1 仕事と育児や介護等の両立を可能とすることが求められる社会環境の変化に伴い、需要が増しながら多様化と充実が求められる保育行政について、本市の状況と考えを問う</p>	<p>(1) 0歳児保育を実施していない公立保育園があるが、実施していない理由はどのようなものなのか。また、0歳児保育の需要は、0歳児保育を実施していない公立保育園と同じ地区にある私立保育園で対応できているのか (2) 0歳児保育の実施園を増やす必要性をどのように考えているのか (3) 特別支援保育を実施していない公立保育園があるが、実施していない理由はどのようなものなのか (4) 特別支援保育を必要とする園児の支援体制の強化を目的とした保育士の育成計画及び知識や能力の向上策はどのように立案し実施しているのか (5) 保育士不足を補うためにどのような取組が進められているのか。また、多様な働き方の試行として実施したフレックスタイム制の効果と課題をどのように考えているのか</p>	

質 問 者	6 蓑手純一議員 (公明党)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 子育て支援の充実について	1 未就学児を対象とした児童発達支援事業所は、放課後等デイサービスを併せて実施している事業所が多く、未就学児に特化した療育のみを専門的に行う事業所が対象者数に対して十分とはいえない。身近な地域で事業所を選択できるよう、事業所が参入しやすい環境整備に向けた行政の支援策及び今後の方針について問う	(1) 児童発達支援を必要とする未就学児の利用状況や今後の利用者動向をどのように把握しているか (2) 児童発達支援事業所の設置状況はどのようなか。また、新規事業所の開設にあたり市としてどのような課題を認識しているか (3) 身近な地域で専門的な発達支援が受けられるよう、市はどのように取り組んでいく考えか	
2 視覚障がい者への支援について	1 片目失明により被せの義眼を必要としながら、障害者手帳の対象とならず公的支援を受けられない方がいる。児童の場合、成長に伴う継続的な作り替え費用や心理的・生活上の負担を抱えている現状を踏まえ、本市として実態把握、被せの義眼の医療的・心理的必要性の認識、独自支援制度への取組について見解を問う	(1) 障害者手帳の有無にかかわらず、被せの義眼を必要とする方の実態を本市として把握しているか (2) 被せの義眼が、外見目的ではなく医療的・心理的に必要な補装具であるとの認識を本市は持っているか (3) 成長や使用経過に伴い継続的な作り替えが必要となる被せの義眼について、独自支援制度を創設する考えはあるか	

<p>3 インクルーシブ社会の実現について</p>	<p>1 発達特性のある子どもや障がいのある方に限らず、強い不安や緊張、ストレスを感じた誰もが一時的に気持ちを落ち着かせるために利用できる場所をカームダウンスペースという。インクルーシブ社会の実現に資する設備として、図書館や芸術劇場等の公共施設においてカームダウンスペースを整備していく考えを問う</p>	<p>(1) 近隣市町のカームダウンスペースの設置状況はどのようなか (2) 本市においても、庁舎をはじめ不特定多数が利用する公共施設にカームダウンスペースを整備する考えはあるか</p>	
---------------------------	--	--	--

質 問 者	7 井 上 純 一 議 員 (公明党)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 すい臓がんの早期発見の取組について	1 すい臓がんは早期発見が難しく、5年生存率が13.5%と極めて低い難治がんである。広島県尾道市の先進的な「尾道方式」を参考に、本市でも危険因子を持つ市民をかかりつけ医が把握し、腹部エコーを起点とした早期発見体制を構築し、攻めの予防医療を推進すべきと考え、本市の取組について問う	(1) すい臓がん危険因子チェックリストを作成して広報とうかい、ホームページ及びSNS等で周知し、該当者に腹部エコーの受診勧奨をすべきと考えるがどうか (2) 尾道方式を参考に、糖尿病等すい臓がんの危険因子を複数有する市民をかかりつけ医等で把握し、腹部エコー検査を起点に公立西知多総合病院での治療へとつなぐ、すい臓がん早期発見モデルの確立を検討してはどうか	
2 高齢者の移動手段について	1 高齢化の進展に伴い、運転免許証返納後の移動支援は喫緊の課題である。豊田市では自治会主体のコミュニティ・カーシェアリングにより、高齢者の通院等を支援し、地域のつながり強化にも寄与している。本市の既存交通施策を補完する仕組として、モデル地区での実証実験や車両補助制度創設を含め、推進の考えを問う	(1) コミュニティ・カーシェアリングを地域における高齢者の移動手段の一つとして推進していく考えはあるか	
3 単身高齢者の見守り支援について	1 単身高齢者の増加に伴い、本市における見守り体制の強化が急務となっている。現行の訪問・通報中心の支援には限界があり、刈谷市のようにセンサーや通信機器を活用した24時間対応の見守り体制導入の考えを問う	(1) 単身高齢者の見守り体制の現状と課題をどう認識しているか (2) 刈谷市を参考に、センサーや通信機器を活用した新しい見守り体制の導入を検討すべきと考えるがどうか	

質 問 者	8 加藤典子議員（日本共産党議員団）		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 物価高騰に対する施策について	1 国が小学校の全国一律の給食無償化によりようやく踏み出した。物価高騰の中、経済支援と子育て支援として、また、子どもの健康と成長を守る大切な方法としてこの施策は大変重要である。中学校の給食無償化も切実な課題であり、小学校と同様に支援するべきと考えるが本市の考え方を問う	(1) 国が給食無償化を小学校から実施することにした理由をどう認識しているか (2) 将来を担う中学生を持つ家庭を支えることについて、どのように考えるか。また、国が中学校の給食無償化を予算化するまでの期間、市として独自に給食無償化を実施する考えはあるか	
	2 「2022（令和4）年国民生活基礎調査の概況」によると、ひとり親世帯の貧困率は44.5%にのぼる。子どもの病気等による急な仕事の欠勤により収入が減少する場合があります、加えて昨今の物価高騰が生活に大きな影響を与えている。国の児童扶養手当、県の遺児手当及び市の援護扶助費（児童）による支援はあるものの十分とは言えないと考えることから、援護扶助費（児童）の支給額の見直しについて問う	(1) 本市の援護扶助費（児童）は18歳までを対象に、児童1人につき月額3,500円としているが、物価高騰に対応するため、支給額の引き上げを検討すべきと考えるがどうか	

2 公共交通について	1 らんらんバスの運行本数等の改善を求める要望を市民から大変多く聞いている。運転免許証を返納した結果、買い物や通院が不便になり、外出に苦勞している人が増えているため、少なくとも運行本数を1時間に1本程度確保することが必要ではないかと考える。市民の移動を保障するため、必要な予算を増額し、市民に寄り添う公共交通の在り方にシフトすべきと考えるが、本市の見解を問う	(1) 現在のらんらんバスの予算を増額し、市民の悲願である運行本数を1時間に1本にする検討をすべきではないか (2) 知多バスの料金をらんらんバスと同一の料金にするため、市からの補助を予算化するべきと考えるがどうか (3) 公共交通について市民の声を聞くアンケート等を行う予定はないか。また、今後の進め方はどのようにする予定か	
3 ハンプ設置道路の整備について	1 児童生徒の通学路や住宅街の道路を車両がスピードを上げて通り抜けることがあり、歩行者が危険を感じる場面がある。歩行者の交通安全をどのように守っていくか、本市の考えを問う	(1) 市内では加木屋町唐山地内にハンプを設置しているが、その効果はどうか (2) 学校周辺や住宅街の道路において車両の速度を減速させて、歩行者の安全な交通を確保するために、今後のハンプ設置の推進について市の考えはどうか	
4 プレミアムデジタル商品券について	1 今回のプレミアムデジタル商品券について、スマホを持っていない人やキャッシュレス決済を利用してもPayPayを利用していない人等の商品券を利用できない方々から多くの意見が寄せられている。自ら利用しないと判断した場合と利用したくてもできない場合の違いは大きい。事業の公平性等について問う	(1) 紙による商品券の発行とせずに、スマホ等を使うデジタル商品券の発行とした理由はどのようなか (2) 令和8年2月2日からサポート窓口がスタートしているが、相談内容はどのようなものが多いか。また、今後サポート体制をさらに充実する考えはあるか	

質 問 者	9 村 瀬 進 治 議 員 (子どもたちに青い空)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 降下ばいじん被害について	<p>1 これまで約60年間続いている降下ばいじん被害について、総務省の外局である公害等調整委員会に日本製鉄㈱によるものであるかの裁定を申請しているが、本市における降下ばいじん被害の原因に対する考え等を改めて問う</p> <p>2 降下ばいじんによる被害は学校においても顕著であると考えますが、特に水泳の授業時間中の児童への影響が心配である。民間の屋内プールの活用が進んでいるが、特に降下ばいじんの多い地区に所在する横須賀小学校プールについて、今後の方向性を問う</p>	<p>(1) 公害防止協定のもと、該当事業者において様々な降下ばいじん対策を実施しているが、市の評価はいかに。また、県における評価の把握状況はいかに</p> <p>(2) 本市における降下ばいじん被害の原因について、市の考えはいかに。また、専ら日本製鉄㈱名古屋製鉄所が原因者であると断定することはできるか</p> <p>(1) 現在の横須賀小学校プールの活用状況及び今後の民間の屋内プール活用の検討状況はいかに</p>	
2 高横須賀町城山地区の交通安全対策について	<p>1 これまで高横須賀町城山地区の道路照明について、安全安心な交通環境を整備するため、長年にわたり設置を求めてきたが、一向に設置されないことから、市民からの陳情も踏まえ改めて道路照明の設置を含む交通安全対策実施の考えを問う</p>	<p>(1) 令和7年5月に市民からの陳情を受けたと聞いているが、内容はいかに。また、陳情内容の実現に向けた市の取組状況はいかに</p> <p>(2) 当該地区の農道を通行する車及び歩行者の安全確保のため、現在の取組に加え、今後、道路照明を設置する等、更なる安全対策を講じる考えはいかに</p>	

3 市民に寄り添った市政運営について	1 市民の声に耳を傾け、市民に寄り添った市政運営を行うためには、市長自らが市民の声を聞くことができる環境の創出が必要であると考え、市長と懇談できる場所や機会を設ける考えについて問う	(1) 1階市民ホール内に市長と市民が懇談できる場所を整備する考えはいかにか。また、愛知県西尾市では定期的に「市長と語る市政懇談会」を実施しているが、同様の取組を実施する考えはいかにか	
4 市役所への電話の通話録音について	1 令和8年1月5日から市役所庁舎への電話の通話録音が始まったが、録音状況及び効果等について問う	(1) 現在までの市役所庁舎における録音件数はいかにか。また、目的の一つとなっているカスタマーハラスメントへの的確な対応や不当な圧力の排除が行われた件数はいかにか (2) 通話録音の実施による職員の電話対応及び接客意識の向上への効果の評価状況はいかにか。また、通話録音以外の方法による職員の接客意識の向上に向けた取組状況はいかにか	
5 東海ハーフマラソンについて	1 令和7年度で5回目となる東海ハーフマラソンは、市内の景色を楽しみながら走ることができる人気の大会になったと考えるが、今後の大会運営の方向性等について問う	(1) 毎回定員を超える申し込みがあると聞いているが、定員を増やし、大会規模を拡大する考えはいかにか (2) 東海シティマラソンのときには設置していなかった給水・給食所を複数箇所設置しているが、安全性の確保策はいかにか。また、ランナーからの評価はいかにか	
6 加木屋町北社山地区の公園等の整備について	1 加木屋町北社山地区は新たに開発された住宅地であり、将来的に多くの人々が居住する地区となるが、当該地区内における公園等の整備状況について問う	(1) 北社山地区には公園等が4箇所整備されているが、遊具等の設置状況はいかにか。また、北社山中央公園を利用する住民からトイレの整備を求める声を聞くが設置の考えはいかにか	
7 スクランブル式交差点の整備について	1 スクランブル式交差点は、歩行者の安全確保と交通の円滑化に寄与するものであると考えるが、市内におけるスクランブル式交差点の設置状況等について問う	(1) 市内でのスクランブル式交差点の設置状況はいかにか。また、中ノ池にある西知多総合病院交差点をスクランブル式交差点とするよう愛知県公安委員会に要請する考えはいかにか	

<p>8 財政状況について</p>	<p>1 令和7年9月に碧南市は財政非常事態宣言を発出し、歳入の確保及び歳出の抑制に取り組む緊急行財政対策を実施している。本市においても加木屋中ノ池駅や創造の杜交流館の整備により財政の圧迫が懸念されるが、本市の財政状況について問う</p>	<p>(1) 加木屋中ノ池駅や創造の杜交流館の整備による本市の財政への影響はいかに</p>	
-------------------	---	---	--